

## 大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）事後評価結果表

大 学 名	早稲田大学
整理番号	A-II-3
事 業 名	アジア地域統合のための東アジア大学院（EAUI）拠点形成構想

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b style="font-size: 2em;">A</b>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を概ね満たしており、事業目的は実現された。
(コメント)	<p>交流プログラムの枠組みについては、アジア地域全体に広がる5大学による交流という困難な事業を、ハブ大学として着実に進捗させ、加盟各大学が経費を分担するネットワーク型へと転換させる道筋をつけた点が、高く評価できる。</p> <p>質の保証を伴った、魅力的な大学間交流の枠組みについては、各大学の強みを活かしながら緊密な連携をとり、共同教育プログラムを構造化し、学生の履修計画の透明性や教育の質の確保を成し遂げている。</p> <p>目標の達成については、派遣、受入とも目標は達成できていないものの、年ごとに数値は伸びている。また、プロジェクト実施中にクォーター制度を導入し、相手大学の多様なアカデミックカレンダーとの交流に対する対応力を高めたことで、今後の派遣、受入の更なる活発化が期待できる。</p> <p>情報の公開、成果の普及については、経済界や国際機関の外部評価委員を委嘱し、実際に学生への面談もしながら事業評価を行い、改善に役立terるという評価に基づく改善の仕組みが内容を伴った形で実現している点が評価できる。また、グローバル・アジア・セミナーを積極的に開催し、学外の人々の参加を得ることで、積極的に情報の発信を行っている。</p> <p>今後は、日本人学生がより国際的なプログラムに関心を持つように促すことや、ジョイント・サーティフィケートを発展させた国際共同学位プログラムの整備などへの一層の全学的取組を期待する。</p>